

私のガイド日記
楽しかったガイド



小林 竹志

六月二日(土) 予約のいないまち歩き当番に当たりました。お客様は奈良の女性二人と横浜の男性一人の三人でした。遠いところから来てくださったので、初めにNEXT21が新潟市で二番に高い建物であることを案内してから西堀通りに向かいました。新潟市の中心街は信濃川に対して通りがあり、縦に堀通りを歩きました。古町の大阪屋さんでは、なぜ新潟で大阪屋さんと言う名前なの、と聞かれましたので、いわれをお教えいたしました。鍋茶屋ではスケールの大きさはびっくりされたようでした。また市山家では芸妓さんは何人いるのですかと聞かれ、二〇人位だと答えると少ないですとねと言われました。西堀通りにでてイタリヤ軒わきの花嫁人形の碑の一文字が変えてあることを説明して



鍋茶屋通り

明したら納得されたようでした。東大畑を通り地獄極楽小路の名前のいわれを説明し行形亭や旧齋藤家の別邸を案内したら、女性二人がガイドが終わったら庭園を見に来ると言われました。新潟大神宮では神社と神宮の違いを話したら初めて聞きましたと言われました。わたしもよくは判りませんが。坂口安吾生誕碑を読んで坂口家は地主であった事を知って驚いておられました。それから安吾風の館や砂丘館の内部を見学しどつぱり坂に向かいました。女性は坂のことは知ってみたいのです。どうして作られたのかを説明して理解してもらいました。次の新潟カトリック教会

ニュース

●設立一〇周年記念事業「にじいろカフェ」開催

新潟シティガイドの設立一〇周年を記念の移動講座「にじいろカフェ」の開催。第一回は六月一七日(日)午前一〇時から旧齋藤家別邸で、講師は一期生藤家利氏を迎え開催しました。会員の他総勢二四人の参加者があり好評でした。第二回は七月二九日(日)午前一〇時から燕喜館で講師は一期生小寺嘉信氏で、三〇人の参加者があり盛況でした。第三回は九月一六日(日)午前一〇時から旧小澤家住宅で講師は一期生八



柳都カフェ(旧「美や古」)見学

●古町柳都カフェの見学
六月十九日から三日間、三業会館取り壊しに伴って移転し、開業した古町柳都カフェの内部見学を行いました。二名の参加がありました。木洋氏です。

●研修旅行で長岡「県立歴史博物館」等を見学
七月一八日会員二十八人が参加し、長岡の県立歴史博物館で開催されている「戊辰戦争一五〇年展」見学と、北越戊辰戦争の発端となった小千谷の慈眼寺等の見学をしました。また、昼食後は摂田屋地

視点を変える



本田 富義

旧齋藤家別邸、異人池の会さんご依頼のまち歩きでした。前日の荒天予報に早朝に目を覚すと初夏の青空が広がっていました。参加者の半分がシティガイドや関係者でコースを熟知している人達でした。同邸の前景を見渡し、通常と同じガイドにならないように情報ポケットを探りながらスタートしました。簡単に同邸の概要を紹介し、目の前の蔵や瓦、塀の上の小さな狛犬から始めました。通常は齋藤家の功績や建物や庭の素晴らしさに時間を割きますが、沢山の情報を持つ今日の参加者には釈迦に説法です。参加者には半分は通常の一般参加の方たちです。目の前の視野に入る構造物や造作物には説得力があります。

新潟シティガイド

No. 32号
《編集発行》
新潟シティガイド
《発行人》
二瓶 芳枝

- 聞いたことは忘れる
- 見たことは思い出す
- 体験したことは理解する
- 発見したことは身につく

代表挨拶



二瓶 芳枝

新潟シティガイド一〇周年の年に、この会の代表を務めさせていただきましたことになりました。知識も経験も未熟な私ですが、二年間の広報役員の経験と人脈を生かして、また今年度の役員との連携、更には会員のご協力の下、順調なスタートを切る事ができました。今年度は「新潟開港一五〇周年」に向けてのイベントが行政機関や文化施設で企画、開催されており、その際のまち歩きガイドの依頼が新潟シティガイドに多く来ています。例年通りの「予約のいないまち歩き」と「えらんでこ」も併せて忙しい年になると予想されます。

いた時の事です。ある男性が「五回目の応募でやっとなりました。実は新潟シティガイドさんの担当するまち歩きには第一回目から参加していて、今回で三〇回目です。」という話を聞き驚きました。「これからもまだまだ参加しますよ。」と嬉しいお言葉をいただきました。お客様に「何に興味を持ってまち歩きに参加するのですか」とお訊ねすると「行ったことがない場所を歩いてみたい」がトップ、次いで「ガイドさんの話を聞きたい」「健康のため」「大勢で歩くのが楽しい」というお答えが返ってきます。小学生や中学生は「自

分の住んでいるところをもっとよく知りたい」が圧倒的に多いです。ほんの二時間のまち歩きですが、そこにはお客様の希望がギュッと詰まっているので、それを叶えてくれるのが新潟シティガイド。そのように考えると、楽しみにやっていると、人の役に立っている、という想いと励みになります。先輩たちが築いてくださった一〇年の歴史。この先を考えるのは容易なことではありません。会員、活動、コースの増加で会は更に大きくなるでしょう。お客様の要望に応えられるガイド体制、役員が疲弊しない運営体制等、様々な見直しを検討していく所存です。また市内外のまち歩きイベントや講座に積極的に参加し、ガイド活動や会の運営に生かせるように力を入れていきたいと思っています。

編集後記

新潟シティガイド一〇周年の節目の年、二瓶芳枝新代表とスタートしました。巻頭の代表挨拶では、「新潟シティガイドの活動が多くなり、お客様との触れ合いも楽しんで気持ちが良い」とありますが、会員の皆様も同じ思いではないでしょうか。共に楽しむまち歩きをし、そのことを多くの方に伝えられる広報活動をしていきたいと思っています。広報委員会では新潟シティガイドの一期生の方々の卓越した知識を聞いて頂き、まち歩きのきっかけになって頂けたらと「にじいろカフェ」の企画を実施しています。また各エリアから、魅力的なまち歩きの新コースも出ています。これらをいかにして、アピールしていくかが広報委員会の課題ですが、新メンバーで取り組んでいきたいと考えています。 広報委員 柴野雅子

区のまち歩きや、河井継之助記念館の見学等、有意義な研修でした。



齋藤邸の中に入らなくても何時もなら見過ごしているたくさんの不思議な光景があります。土蔵や瓦、土蔵の齋藤家の家紋ではない紋にも当家がたどった歴史があります。少し視点を変えると別世界が広がります。今回も楽しく学ばせて頂いた歩きになりました。

広報からのお願い

- 1 広報紙「新潟シティガイド」の原稿依頼
広報紙の紙面は、会員の皆さんの投稿原稿で成立っています。原稿依頼をお願いすることがあると思いますが、ご協力をよろしくお願い致します。
- 2 「新潟まち歩きブログ」への投稿依頼
「新潟シティガイド」をより多くの方に知っていただくため、投稿をよろしくお願い致します。なお、原稿をいただければ代わって投稿いたします。



間島 勝利

移動講座「にじいろカフェ」ガイド活動一〇年目の軌跡

神社仏閣に興味があり、四国巡礼に行ったときに改めて新潟の良さを感じた。そこで新潟の入船地蔵を調べていくと佐渡と繋がりが...



深澤 一彦

一五年ぶりの銭湯巡り

定年後の平成一三年、新潟中央公民館主催の「新潟の歴史を学ぶガイド養成講座」を終了し、翌一四年...

研修旅行を終えて



伊藤 恭子

七月一八日会員の皆様のご協力を得まして、長岡の県立歴史博物館で開催された「見学と撰田屋地区のまち歩き」に行ってきました。



研修旅行（新潟県立歴史博物館前）

頂きました。食事の後は、河井が昼食をとった梅の間を見学して、長岡の撰田屋地区へ。



石田 幾子

えんでこ「砂の町にいがた豪商の館と新潟砂丘を歩く」

六月一六日(土) 爽やかな週末となりました。参加者は、一般のお客様一四名、スタッフ六名が三班に分かれて旧齋藤家別邸の集合場所から邸内、お庭の見学からのスタートとなりました。



「えんでこ」ガイド

最後に、会津では多くの婦女子が犠牲になつていて、長岡では犠牲者を出していない。越後女性は、夫や子供の帰還を考えている。

私達は、伊藤頼子さんの班に参加です。豪商の館として、平成二七年には「国の名勝」に指定された旧齋藤家別邸は...

身だしなみはおもてなし



齋藤 勝子

明日はガイドの出動の日。歯の念入り、髪は洗って朝の鏡の前でスタイリング。お着替えは、お出かけの服装に合わせます。

Table with 4 columns: Photo, Name, Residence, and Hobbies/Interests. Includes members like Mitsuru Maekawa, Takanori Kamada, and Masako Shirashi.

心配するのは私だけでしょうか。街の社交場銭湯文化よいつまでもと願うばかりです。

住んでても知らなかった新潟を、まち歩きへ参加し楽しみながら知る事が出来るとも良かった。是非又、参加したい。早くもお客様からこんな言葉が出てスタッフは嬉しいのです。